

聞く力を高め話す力につなげる国語科学習の工夫
～2 年 「ゆめをかなえるまほうのどうぐミュージアム」 作りを通して～

1. 設定理由

「よい聞き手が、よい話し手を育てる」と言われる。話の内容を正しく聞く力、聞いたことをもとに、さらに詳しく知ろうとして聞く力（質問）、話し手の思いや気持ちに耳を傾けて聞き、自分の考えの形成へとつなげる力（感想・意見）、それらの「聞く力」を高めていくことで、主体的に聞き、主体的に話す子どもたちを育てていきたい。それは、次期学習指導要領で求めている「主体的・対話的で深い学び」へつながっていくものと考ええる。

そこで、子どもたちが主体的に聞くための場を設定し、言葉集めや聴写・スピーチや検証授業等を通して、一人一人の「聞く力」を高め、質問・意見・感想を伝え合うことができる「話す力」につなげたいと考え、本テーマを設定した。

2. 研究仮説

主体的に聞くための場を設定し、「聞く力」を高めることで、質問・意見・感想を伝え合うことができる「話す力」につながるだろう。

3. 研究内容

- (1) 言葉集め (2) 聴写 (3) 「言の葉」音読・暗唱 (4) 朝の会のスピーチ
(5) 言葉遊び (6) 検証授業： 「ゆめをかなえるまほうのどうぐミュージアム」

4. 結論

- ・ 友だちの前で話すことが好きと答えた児童が増えた。その後、さらに伝え合ったり話し合ったりする活動に主体的にとりくめるようになった。
- ・ 聴写を年間を通して続けたことで、長い文章で読み上げたことも短い言葉でメモしたり、大事なキーワードになる言葉をおさえたりすることが容易にできるようになった。
- ・ キーワードになる言葉をおさえたことで、相手がどんなことを質問してほしいか考えながら聞いた上で、質問・意見・感想を伝えることができるようになった。そのため、話し手も答えやすいものが多くなり、話の内容が深まった。
- ・ 自分の意見と比べながら聞く練習をしたことで、「ぼくだったら〇〇します」「わたしは〇〇だと思いましたが、〇〇くんの考え方は違うので驚きました」等の発言が日常的に見られるようになり、どの子もさらに興味深く聞くことができるようになった。
- ・ 「ぼくは〇〇だと思いますが、みなさんはどうですか」等、クラス全体に話題を広げ、共有することができるようになり、話の内容が深まった。

I 研究テーマ

聞く力を高め話す力につなげる国語科学習の工夫
～2年 「ゆめをかなえるまほうのどうぐミュージアム」作りを通して～

II テーマ設定の理由

5月実施のアンケート調査から、本学級の児童の9割近くは、話を聞くことが好きなことが分かった。4月から続けている朝の会のスピーチでは、クラスの全員が日直の話に夢中になり、頷いたり笑ったりする等の反応をしている。しかし、全校集会で校長先生が話された内容を教室に帰ってから聞くと、ほとんどの児童は答えることができなかった。また、大好きな日直の話でさえも、ただ聞いているだけで、質問・意見・感想が伝えられる児童は少ない。さらに、手を挙げ質問をする児童はいつも限られ、発表に抵抗を感じている児童が半数以上いることが分かった。その理由として、間違えたら恥ずかしい、緊張する、自信がない、言葉に詰まってしまう、何を言いたいかわすぐに忘れてしまう等が挙げられる。「みんなの前で話すのが好き」と答えた児童でも、毎回同じような質問をしたり、「はい・いいえ」で答えるような質問をしたりする等の浅い内容がほとんどであった。また、「話す・聞くときに気を付けていること」として、「態度と言葉遣い」はほとんどの児童から出たが、発表や質問の内容に関するものは一つも出なかった。これらの実態から、本学級の児童は、「聞いたこと」からそれをふまえて表現する「話すこと」へつなげるのが苦手なことが分かる。

「よい聞き手が、よい話し手を育てる」と言われる。本研究では、聞き手に焦点を当て学習を進め、その結果として、「聞くことができたから、自信をもって質問や感想・意見を伝えられる」という自信や能力につなげていきたい。学習指導要領での2年生段階の目標、「大事なことを落とさないで聞くこと」を基本の力とし、さらに、「聞いて、思考し、伝える」という力の育成をめざしていきたい。

話の内容を正しく聞く力、聞いたことをもとに、さらに詳しく知ろうとして聞く力（質問）、話し手の思いや気持ちに耳を傾けて聞き、自分の考えの形成へとつなげる力（感想・意見）、それらの「聞く力」を高めていくことで、主体的に聞き、主体的に話す子どもたちを育てていきたい。それは、次期学習指導要領で求めている「主体的・対話的で深い学び」へつながっていくものと考えている。

そこで、子どもたちが主体的に聞くための場を設定し、言葉集めや聴写・スピーチや検証授業等を通して、一人一人の「聞く力」を高め、質問・意見・感想を伝え合うことができる「話す力」につなげたいと考え、本テーマを設定した。

III 研究の目標

- ・聞く力を高め、話す力につなげる学習指導の方法を探る。

IV 研究の実際

1 研究の仮説

- ・主体的に聞くための場を設定し、「聞く力」を高めることで、質問・意見・感想を伝え合うことができる「話す力」につながるだろう。

2 研究の内容・方法（(1)～(5)は、年間を通して取り組んだ活動）

- (1) 言葉集め （語彙力を増やすための活動）
- (2) 聴写 （「聞く力」をつけるための活動）
- (3) 「言の葉」音読・暗唱 （「話すための土台となる力」をつけるための活動）
- (4) 朝の会のスピーチ （「聞く力」「話す力」をつけるための活動）
- (5) 言葉遊び （「聞く力」「話す力」をつけるための活動）
- (6) 検証授業： 「ゆめをかなえるまほうのどうぐミュージアム」

3 研究の実際と考察

A 児・・・話をしたいという意欲があるが、言葉に詰まってしまい、発表することに強い苦手意識をもっている。

(1) 言葉集め（語彙力を増やすための活動）

学習活動と内容	・〇〇といえば？で思いつく言葉を制限時間を設け、ノートに書いて発表する。 （例：春といえば・夏といえば・赤といえば・言われて嬉しい言葉といえば 等） ・友だちの意見を聞き、よいと思ったものをノートに書き足す。【資料 1】
子どもの様子	・制限時間（5 分）を設けたので、どの子どもも集中してとりくむことができた。 ・時間のかかる子どももいたが、ほとんどが 1 ページは書くことができた。 ・自分の考えが少なくても、友だちの意見を聞いて「なるほどね!」「それ一緒!」等と反応しており、嬉しそうであった。 ・発表の場では、どの子どももノートに書いたことを意欲的に発表することができた。 A 児・・・集中力に欠け、テーマによって語彙数に大きな差がみられる。友だちの意見を聞いても反応はするが、書き写すまでにいたらないことが多くあった。自分で考えたい気持ちが強く、意欲は感じられる。【資料 2】
考察	・自分でじっくり考える時間を設けたことで、日常の中を見つめ直し、言葉を意欲的に探し集める活動につながったようだ。 ・自分だけでは考えられなくても、集めた言葉を友だちと共有することで、言葉そのものを知り語彙を増やす手立てとなった。

(2) 聴写（「聞く力」をつけるための活動）

学習活動と内容	・集会で校長先生の話を読み、教室に帰ってきてから確認する。【資料 3】 ・連絡帳を書くときに黒板の文字を移すのではなく、文章で読まれたことから大事な言葉を見つけ、箇条書きにする。【資料 4】 ・料理の食材名を聞き取り、そのまま書くことで聞くことに慣れる。【資料 5】 ・その後、ただ聞くだけでなく、何が出来上がるのか予想し思考しながら聞くことに慣れる。
---------	---

子どもの様子	・初めは聞き取ることが困難だった子どもも、回数をこなしていくうちに、大事な言葉を聞き逃すことなくメモできるようになった。 ・文章で読まれたことから、大事な言葉だけを取捨選択し、短くまとめられるようになった。 ・補足の内容を括弧で書き表せるようになった。
	A児・・・校長先生の話では、印象に残ったことしか聞き取ることができなかった。料理の聴写でも、初めの頃はほとんど聞き取れずメモも少なかったが、1ヶ月後にはほとんど聞き取れるようにまでなり、聞くことに対して自信がついてきた。【資料6】
考察	・言われた言葉を聞き逃さないという意識が高まり、耳を澄まして話を聞いたり、耳だけでなく視線を合わせて話を聞いたりする等、話を聞く態度がよくなった。 ・練習を重ねるたびに聞き取れる量が増え、聞くことに対して自信がついてきたように感じる。

(3)「言の葉」音読・暗唱（「話すための土台となる力」をつけるための活動）

学習活動と内容	・『日本の言の葉音読・朗読集』を朝のスキルアップタイムに音読する。 ・リズムよく、様々な読み方（交互読み・男女読み・号車読み・竹の子読み）で音読する。 ・言葉遊びうた（いるか・ののはな・かっぱ）では、教員が朗読し、同じ言葉がいくつ出てくるか数えた。
子どもの様子	・繰り返し練習することで、大きな声を出すことへの抵抗が減り、自信をもって音読できる子どもが増えた。 ・言葉遊びうたでは、耳を澄まして指を折りながら集中して聞くことができた。
	A児・・・初めの頃は、文字を指で追いつながらの音読だったが、次第に言葉やリズムにも慣れ、楽しんでとりくめるようになってきた。また、友だちの声につられて、口を大きく開けて音読できるようにもなった。
考察	・一斉に音読することで、恥ずかしさや不安を感じることなく自信をもって音読することができたとされる。 ・声を出す経験を増やしたことから、全体に声を届けるには、どれくらいの大きさと話せばよいか等の「声のものさし」の加減が分かってきたようだ。 ・音読が上手な友だちの読み方や声の大きさ等を真似し、一人ひとりの読み方の質が向上したようだ。

(4) 朝の会のスピーチ（「聞く力」「話す力」をつけるための活動）

学習活動と内容	・毎週末に日記の宿題を出し、それを日直のスピーチや国語で発表した。【資料7】【資料8】 ・毎回異なったお題を出し、書く意欲付けを図った。 ・聞き手は、メモを取りながら聞き、そのメモをもとに質問や感想を伝えた。【資料9】
子どもの様子	・毎回異なるお題とそれに対する担任からのコメントが、書くことの意欲につながり、スピーチでも自信をもって発表することができるようになった。【資料10】 ・メモを取りながら話を聞くことで、質問の内容が明確になり、ほとんどの子どもが質問できるようになった。 ・前の人の意見を受けて質問をし、話を聞くことを意識できるようになった。 ・発表者⇄質問者だけでなく、発表者⇄質問者⇄クラス全体で話題を共有できるようになった。

	A児・・・6月の段階では1文しか日記を書けず、発表でも自信をもてないようであった。12月頃になると、日記に書いてあることだけでなく、その場で文章を組み立て、つけたししながら発表することができるようになってきた。メモでは次第に聞き取れる量が増え、質問をする意欲につながった。【資料11】
考察	・ 予め書いてあるものを読むことで、発表の仕方が自然と身に付き、ノートを忘れてしまったときでも、頭の中で話を組み立てスピーチできる子どもが増えてきたようだ。 ・ 「〇〇さんは、〇〇といいましたが・・・」を冒頭で言うことで、聞きそびれてしまった言葉があっても、何か一つ覚えていれば、質問や感想を伝えられることが周知できたようだ。 ・ 「ふりかえるカード」では、「できた」を選ぶ子どもが増え、学習の始めと終わりでの変容がみられたことから、自分の成長に気付き、自信につながっているようだ。【資料12】

(5) 言葉遊び(「聞く力」「話す力」をつけるための活動)

学習活動と内容	・ 「聖徳太子ゲーム」一度に複数の言葉を聞き取る。 ・ 「好きですか・嫌いですか」特定の児童に質問をし、その回答に反応を示して答えまで導く。 ・ 「これ、何の絵？」簡単な図形を特定の子どもに説明させ、聞き手は説明を聞き図形を書く。 ・ 「アニメシオン ダウトをさがせ」読み聞かせを聞いて、間違いだと思ったら「ダウト」と言い、正しい答えを言う。【資料13】
子どもの様子	・ 聞くときは物音を一切させず、集中して楽しんで参加することができた。 ・ 役割分担をしたり声を掛け合ったりと、グループで協力して正解を導くことができた。 ・ 説明をした友だちに対し「説明が上手」「〇〇さんのおかげで書けた」等の言葉かけが多くなり、自信につながった。 A児・・・緊張や不安感がなく楽しんでとりくむことができた。友だちから褒められることも増え、「ぼく、聞くのが得意になってきたかもしれない」等と発言するようになった。
考察	・ ゲーム感覚で和気あいあいとした中でとりくむことで、無意識のうちに「聞く」ことや「質問する」ことに慣れていったようだ。 ・ グループで協力してとりくむことで、「できなかったらどうしよう」という不安が軽減され、自信をもって参加できたようだ。

(6) 検証授業：「ゆめをかなえるまほうのどうぐミュージアム」

①単元について・・・友だちの発表を聞かなければ、ミュージアムを作れないという「必要感のある場」を設定し、より集中して聞こうとする意欲を高めたいと思い、本単元を設定した。

②単元の目標と評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
目標	・ 進んで話したり聞いたりしている。	・ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。 【A 話すこと・聞くこと(1)イ】 ・ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。 【A 話すこと・聞くこと(1)エ】	・ 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付き、話すことができる。 【伝国(1)イ(ア)】

評価規準	・進んで話したり聞いたりしようとしている。	・丁寧な言葉と普通の言葉を使い分けて話している。 ・「あったらいいな」と思うものについて、より詳しく知るための尋ね方や対話の仕方を理解している。 ・相手の話を最後まで興味をもって聞いている。	・「道具を考えた理由」「働き」「形や大きさ・色」等をまとめ、伝えることで、聞き手が質問しやすい発表ができています。
------	---	---	---

③単元計画と授業の実際（国語 13 時間＋図工 2 時間＋課外 1 時間）

次	時	ねらい	学習内容	指導・支援（○）と評価（◎）
一	1	学習の見通しをもつ。	・ミュージアムに飾る「あったらいいな」と思うものを考えることを知る。 ・学習の見通しをもち、学習の計画を立てる。	○教師のモデルを拡大して掲示し、学習に対する興味・関心を引き出す。【資料 14】 ◎学習内容に興味をもち、「あったらいいな」と思うものを進んで考えようとしている。 【関心・意欲・態度】（観察・発言）
	子どもの様子		・ミュージアムのモデルを見て、「早く作りたい」等と本単元に高い関心を示していた。 ・計画を立てることで見通しがもて、何をすべきか明確に分かり、「時間足りるかな」「やることがたくさんで頑張りたい」等の感想があった。【資料 15】	
	考察		A児・・・計画をワークシートに書き終え、「たくさん書いてうれしかった」という感想を書いた。完成した計画を見て、とても満足気であった。 ・頑張って完成させて褒めてもらいたいという気持ちや、ミュージアムを作るのが楽しみな様子、また、本番に向けて頑張ろうという意欲の喚起につながった。 ・これからやる気が出てきそう・たくさん書いたけど全然疲れない等の肯定的な感想がほとんどで、子どもたちの意欲の高さがうかがえた。 ・中には、本番までの時間を気にしたり、やることの量に驚いたり、ミュージアムを作ることが壮大なことのように感じ、心配した児童も数名いた。単元計画がしっかりと頭に入っているからこそ、このような心情になったのだろう。	
二	2 3	「あったらいいな」と思うもの考える。 【資料 16】	・「あったらいいな」と思うものを考え、思いつくだけ書き出す。 ・書いた中から 1 つに絞り、道具を考えたわけや、道具の働きを考えてまとめる。 【資料 18】	○児童から出された道具を用途ごとにまとめ、視覚的にとらえることで多様な意見が出るようにする。 ○児童に困った場面を想像させ、そのときどんなものがほしいか考えさせる。 ◎学習内容に興味をもち、「あったらいいな」と思うものを進んで考えようとしている。 【関心・意欲・態度】（ワークシート）
	子どもの様子		・ドラえもんに出てくるようなおもしろい名前の道具を考え、絵や文章で書くことができた。 ・第 2 時学習後には、「道具を考えるのが楽しかった」「本当にあったらいいな」「ほしいものがたくさんあった」「ここから 1 つに絞るのは大変そう」「ドラえもんはずるいな」等の感想があった。 ・第 3 時学習後には、「詳しくするのが楽しかった」「1 つに絞れて嬉しかった」「1 つに絞るのが残念」「全部よかったから悩んだ」等の感想があった。	

	A児・・・【資料 17・19】「じどうのランドセル」「じどうのえんぴつ」等、すべて「じどうの～」で道具を連想して、ワークシートを短時間で埋めることができた。学校生活や日常生活を思い浮かべ、「本当にあったらいいな」という感想を書いていた。		
考 察	・ドラえもんはどの子も知っている内容なので、子どもたちが日常生活を思い浮かべ、ほしい道具を連想するのは、容易なことであったようだ。少しひねったような名前をつける児童もいて、一生汚れない「ピカッとシューズ」や絶対に間違えない鍵盤ハーモニカ「まちがえん」等、自由な発想で楽しみながら考えたことが分かる。 ・たくさん考えた中から 1 つに絞れたことを嬉しく感じる児童がいる反面、1 つに絞ることに抵抗を感じる児童もいた。このことから、自分の考えた道具すべてを真剣に考え、愛着があることがうかがえる。		
図 工 (2)	「あったらいいな」と思うものを絵に描く。	○道具の一番の特徴はどこなのかを考えさせ、そこがうまく伝わるような絵になっているよう助言する。 ○絵が苦手な児童には、身近にある道具を組み合わせて考えさせる。	
子 ど も の 様 子	・「違う色に変えた」「細かいところを描けた」「絵を描いたらよく分かってきた」「ミュージアムで出されるのが楽しみ」「描いているうちにどんどん変わった」等の感想があった。 A児・・・普段から絵を描くことが大好きなので、楽しそうにとりくんでいた。描きながら、「いつも 100 点取れるから、虹色の鉛筆なの」と教えてくれた。感想に「先生から褒められて嬉しかった」とあり、自信をもって本時を終えることができたようだ。		
考 察	・描いているうちに自分のイメージが変わったり、より鮮明になったりする等、「絵を描いてよかった」と感じる児童が多かったことから、絵を描くことが表現を具体的に手立てとなったようだ。 ・自分の絵がミュージアムに出されることを想像し、どの子も丁寧に描いていた。自分の道具を大切に思い、相手に伝わるように表現したいという気持ちや様子がうかがえた。		
4 5	道具をより分かりやすくするための尋ね方を知る。 友達の質問を参考にして、道具をより詳しく考える。 【資料 20】	・道具について、より分かりやすくするための尋ね方を CD を聞いて確認する。 ・ペアになり、考えた道具について聞き合う。 ・どのようにしたら便利さや必要性がより伝わるかアドバイスをする。	○CD を聞かせる前に、自分ならどんな質問がしたいか考えさせる。 ○「考えた理由」「働き」「形や大きさ・色」について詳しく聞いていることに気付かせる。 ◎道具について、より分かりやすくするための尋ね方や対話の仕方を理解している。 【話すこと・聞くこと】（観察・発言） ○ワークシートだけを見ながら話さないようにする。 ○道具を便利に発展させていくのではなく、どのようにしたら道具の便利さや必要性が伝わるかを考えさせる。 ◎相手の話を最後まで聞き、道具についてよりよく考えている。【話すこと・聞くこと】（絵・観察・発言）

子どもの様子	・「ペアの質問が厳しかった」「アドバイスをもらって道具がよくなった」「質問されたことに迷って、適当なことを言ってしまった」「アドバイスを言えて嬉しかった」「ぼくもいっぱい質問したけど、相手からもいっぱいされて困った」「ペアが困ってたら、こっそりアドバイスをあげるとよい」「〇〇君の質問がぼくにとってアドバイスになった」「本番でびしっと決めたい」等の感想があった。		
	A児・・・「いっぱい質問できて嬉しかった」の感想を書いた。絵を見ながら、思いついたことを積極的に質問していた。また、その質問にペアが答えてくれることで、さらに嬉しさを感じ意欲につながっているようだった。		
考察	・質問を伝えることができた喜びと、質問されて少し困ったけど、そのお陰で道具が詳しくなった喜びとを感じた児童がほとんどだった。 ・質問し合うことを繰り返す中で、道具が各々の中で詳しく、鮮明にイメージできるようになり、どんな質問にも答えられるという自信につながったようだ。 ・本番でペアが困っていたら助けてあげたいという気持ちが芽生え、ペアの中で仲間意識が生まれたようだ。		
6	発表会のときの話し方や聞き方について確かめる。	・発表会のときの話し方と聞き方について考え、理解する。 ・発表メモの書き方を知り、発表メモに書く内容を整理する。	○聞き取りやすい声の大きさと速さになっていることに気付かせる。 ○聞く側が興味をもって聞いているから、質問や感想が出ることに気付かせる。 ◎発表会での話し方と聞き方について理解している。 【話すこと・聞くこと】（観察・発言） ◎発表メモの書き方を知り、「考えた理由」「働き」「形や大きさ・色」等をまとめている。 【言語】（ワークシート）
子どもの様子	・「質問をすることは苦手だけど、感想だったら言えそう」「話すときは特に気をつけなければいけないと思った」「聞き方が難しかった」「質問の仕方は大切」「質問するとすっきりする予感がする」等の感想があった。		
	A児・・・「これから頑張りたいと思った」と意欲が感じられたが、同時に難しさも感じているようだった。		
考察	・質問が思い浮かばなかったら、感想でもよいことを知り、それならできそうと感じた児童が多かった。 ・ただ聞くだけでなく、どんな質問をしようか、感想を伝えようか等、考えながら聞かなければいけないことに気付くことができた。そのため、聞くことは難しいと感じた児童が多かった。しかし、その分質問できたときの達成感は大いことに気付いているようだ。		
7	話す順序を考えて、発表の準備をする。 【資料 21】	・話す順序や組み立てを考え、発表メモを作る。 ・発表メモをもとに、絵を描き足す。 ・発表メモをもとに、原稿を書く。	○発表メモだけでは不安な児童には、原稿を書かせ、安心して発表できるようにする。 【資料 23】 ◎まとめた「考えた理由」「働き」「形や大きさ・色」等をもとに発表メモを作っている。 【言語】（ワークシート）

子ども の様子	・「順番を決められてよかった」「メモを書いていたら、この道具が本当にあったらなどと改めて思った」「はじめ・中・おわりに分けられてよかった」「完璧にできたから早く練習したい」「メモを書いたら、道具のことがよく分かってきた」「質問をいっぱいされそうで怖い」「ワークシートを見れば、簡単に書けた」等の感想があった。 ・メモだけでは不安な児童は、メモを文章にした発表原稿を作り、本番に備えた。		
	A児・・・【資料 22・24】「いっぱい書けてよかった」と嬉しそうに教えてくれた。ワークシートがしっかり書けていたので、メモも自信をもって書くことができた。しかし、本番ではメモだけでは不安ということで、原稿も頑張って書いていた。		
考察	・ワークシートに対応するように発表メモを作ったので、子どもたちは抵抗なくスムーズに書くことができたように感じる。 ・「中」の道具の説明をどのような順序で読むのか、子どもたちなりに考え、番号を振っていた。また、強調するところ・ゆっくり読むところ・絵を見せるタイミング等、本番で気を付けたいところを書き込むこともできた。メモを書くことで、発表へのイメージができてきたのだろう。		
8	聞いている人によく伝わるように、発表の練習をする。	・聞いている人によく伝わるように発表の仕方を考え、練習をする。 ・友だちに発表を聞いてもらってアドバイスをもらう。	○練習に向けて、自分のめあてをもたせる。 ○「です・ます」の文末表現に気を付けるよう助言する。 ◎聞いている人によく伝わるように発表の工夫を考え、練習をしている。 【話すこと・聞くこと】(発表)
子ども の様子	・「暗唱を 4 回もできて嬉しかった」「メモを少し見てしまった」「本番もできるか心配になった」「一応原稿を書いたけど、本番は見ないで言えたらいいな」「暗唱もできたし、この道具もとても便利だから、みんな喜んでくれるはず」「家でたくさん練習しないと」「本番が楽しみだな」等の感想があった。		
	A児・・・「練習を 11 回もできた」と教えてくれた。一人でぶつぶつ言うだけでなく、ペアに「聞いてて」と自らお願いして練習する姿が見られた。		
考察	・ペアからアドバイスをもらったり、褒めてもらったりと、練習を何度も繰り返すことで、本番に向けて自信に繋がったように感じる。 ・原稿を書いた児童も、本番は原稿がなくても発表できるという心境の変化がうかがえた。		
課外 (1)	・家の人に発表を聞いてもらってアドバイスをもらう。【資料 25】		
子ども の様子	・道具や話し方のアドバイス、励ましの言葉や共感の言葉をもらい、嬉しそうであった。		
	A児・・・「折れてもすぐに生えてくる」という道具の働きを母に褒めてもらって、嬉しそうであった。		
考察	・発表する絵の裏に保護者からの言葉を貼ることで、本番でも不安が減り、応援されているような気持ちになったのではないかな。 ・家で練習したという軌跡を残すことで、本番への自信と意欲へつながったようだ。		

三	9 10 本 時	発表会をして、どんな力が身に付いたか振り返る。 【資料 26・27】	・声の大きさに注意しながら、「初め」「中」「終わり」の順に分かりやすく発表する。 ・友達の発表を聞き、進んで質問や感想を述べる。 ・自分の立てためあてを振り返る。	○発表会のための場の設定・雰囲気作りを工夫する。 ○発表に不安をもつ児童には、ペアで発表練習をさせる。 ○「道具を考えた理由」「働き」「形や大きさ」など、様々な視点から質問するよう声をかける。 ◎友達の発表を最後までしっかりと聞き、進んで質問したり感想を言ったりしている。 【話すこと・聞くこと】(発表)
	子ども の様 子	・「たくさん先生が来てくれて嬉しかった」「緊張したけど、みんなの道具が楽しかった」「発表前はドキドキだったけど、今はスッカリしている」「絵をうまく見せて強調できた」「質問がたくさんできた」「大きな声で発表が上手になったかも」「質問すると、相手の言いたいことがもっと分かる」「みんなに質問してもらえて嬉しい」「メモを書いて質問したら盛り上がった」「みんなすごい道具を考えていた」等の感想があった。 A児・・・【資料 28】「みんなで楽しく言えて嬉しかった」と感想を述べた。自分の発表も頑張ったし、質問もできたので、大満足の出来だったようだ。		
	考 察	・お客様が大勢いて緊張したけど、そんな状況でも練習通り発表できたことに達成感を感じた児童がほとんどだった。 ・しっかり聞き、取ったメモから質問して、その話題で盛り上がったようだ。そこから、しっかり聞き取ることが、発表へつながることに実践を通して伝わったのではないかと思う。 ・大きな声で発表したり、質問をしたりする等の活動を通して、発表が上手になったと感じる児童がたくさんいた。 ・友だちの考えた道具に感銘を受け、改めて友だちのよさや凄さに気付くことができたようだ。		
	11 12	自分だけのミュージアムを作る。 【資料 29】	・友だちの発表で得た情報から、作品の配列を考え展示する。 ・なぜその配列にしたのか理由を書く。	○ただ配列するだけでなく、用途や種類別を思考しながら配列するよう指導する。 ◎配列をした理由を明確に書いている。 【話すこと・聞くこと】(ワークシート)
	子ども の様 子	・「好きな順に並べられて楽しかった」「みんなの道具を合わせるとすごいと思った」「最初は難しそうだったけど、やってみると簡単だった」「友だちの作品がとてもよかった」「レベル3にすればよかった」等の感想があった。 ・自分で好きなレベルのワークシートを選び、その目的に合ったやり方で、ミュージアム作りにとりくんでいた。 A児・・・【資料 30】メモは端的で、キーワードとなる言葉は多くはないが、特徴をとらえしっかり書くことができた。感想からは、「ミュージアムが完成できてよかった」という安堵感が感じられた。		
	考 察	・友だちの道具を実際に並べてみることで、その凄さに気付いたり、どのように展示しようかのアイディアが浮かんだりしたようだ。 ・単元の始めでは、できるか不安に感じていた児童もいたが、ミュージアム作りを始めると、		

	簡単で楽しかったという意見がほとんどだった。しっかり聞いて、メモを取っていたからこそ、困ることなく充実した活動になったのだろう。		
13	作ったミュージアムを鑑賞する。 【資料 31】	・発表の聞けなかった児童の作品のよさを知る。 ・友だちのミュージアムを鑑賞して、気付いたことを書く。	◎友だちのミュージアムについて、感じたことや気付いたことを書いてる。 【話すこと・聞くこと】(ワークシート)
子どもたちの様子	・「たくさん書いてあって嬉しかった」「嬉しい言葉があってよかった」「みんなのミュージアムが素敵だった」「〇〇ちゃんのが役に立ちそうだ」「スタンプラリーみたいで楽しかった」「〇〇君のミュージアムがとても人気で羨ましかった」「自分より凄いものを作ってる子がたくさんいた」「みんなそれぞれ違ったから読んでいて楽しかった」等の感想があった。 A 児・・・「あまり頑張れなかったけど、みんなの作品を見ることができて楽しかった」と感想を書いていた。もっと難しいレベルに挑戦すればよかったと感じたようだ。しかし、友だちの作品を鑑賞したり、自信のなかった自分のミュージアムを褒めてもらったりする中で、やってよかったと改めて思えたように感じる。		
考察	・自分のミュージアムのよさを友達に褒めてもらえて、全員が嬉しいと感じることができた。 ・友だちのミュージアムを鑑賞することで、自分と比べたり、相手を認めたりすることが自然にできたのではないかとワークシートにコメントを書くだけでなく、言葉で直接伝える児童もいて、温かい雰囲気の中での活動となった。		

V 成果と課題

1 成果

- ・友だちの前で話すことが好きと答えた児童が増えた。その後、さらに伝え合ったり話し合ったりする活動に主体的にとりくめるようになった。
- ・聴写を年間を通して続けたことで、長い文章で読み上げたことも短い言葉でメモしたり、大事なキーワードになる言葉をおさえたりすることが容易にできるようになった。
- ・キーワードになる言葉をおさえたことで、相手がどんなことを質問してほしいか考えながら聞いた上で、質問・意見・感想を伝えることができるようになった。そのため、話し手も答えやすいものが多くなり、話の内容が深まった。
- ・自分の意見と比べながら聞く練習をしたことで、「ぼくだったら〇〇します」「わたしは〇〇だと思いましたが、〇〇くんの考え方は違うので驚きました」等の発言が日常的に見られるようになり、どの子もさらに興味深く聞くことができるようになった。
- ・「ぼくは〇〇だと思いますが、みなさんはどうですか」等、クラス全体に話題を広げ、共有することができるようになり、話の内容が深まった。

2 課題

- ・話を聞き、意見を交わす学習には慣れてきたが、普段の生活の中で、聞き取ったことから質問や感想へと深めたり、広げたりという活動へ結びついていない児童もいるので、継続していきたい。
- ・小グループでは生き生きと交流できるが、全体の前になると消極的になってしまう児童がいるので、発言の場を増やし、話すことに慣れさせていきたい。

資料

【資料1】言葉集め（〇〇といえば？ で言葉を連想し、友だちと共有した）

五月十日 水曜日
百葉あつたをしよう。
風といふは、
じりじりとくるむいであらいたづまきよき風だ思ふ。
あにたり。(よ)
物ようといふは、
奥しいおもしろいことづくしで、よくよく見れば
しくやれいかないうれしいにかいまみかういすばいしば
いついていたまゝやましいかわいにかたいやわらかい。まるい
角い。めだたかいこむいなきこいこまひびく。いぢいかうなが
います。

②

5/10

(29)	は	か	ま
た	ん	・	ふ
こ	そ	も	り
や	で	・	・
き	・	花	火
・	水	プ	・
水	ぎ	・	海
あ	・	ル	・
そ	夏	す	め
び	本	い	ろ
・	の	かん	・
チ	たん	り	わ
・	さ	・	・
ま	・	・	・
し	む	・	・

みなづた九 木曜日
ことばあつめをしよう。

赤金ぎよ・りんご・いも・ぶ・赤青え
人ひつ・トマ・ン・う・虫のけ
ね・ぞりか・ム・赤白・うし・赤包
大玉・ち・文・イ・じ・れ・ぼり車
・さく・ん・は・ゆ・や・り・うめば
し・めんたい・ウ・ドラ・ル・ツ・
ポスト

春といえは
・さぐり・
しき・
春やすみ・
そつぎ・
う

友だちのい見
エンプルフル
かわずさぐり
リにんしき
なの花
お花み

自分の考えは少なかったが、友だちと考えを共有することで、新たな言葉を知ることができた。

【資料2】言葉集め（A児）

[illegible]

A児

重複して書いてしまう等，集中して考えることができない。

また、友だちの意見も聞き取れず、自分の考えしか書けていない。

【資料3】聴写（集会での校長先生の話）

六月十六日 木曜日

（1）校長先生の話を正確に聞き取ることができず、集中力にも欠けていた。

（2）校長先生の話を正確に聞き取ることができず、集中力にも欠けていた。

16日 木曜日

せんせいはなしくさく

A児
校長先生の話の正確に聞き取ることができず、集中力にも欠けていた。

【資料4】聴写（連絡帳）

下校（雨）だから

（1）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

（2）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

（3）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

下校（雨）だから

（1）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

（2）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

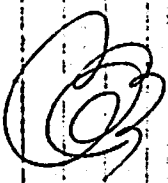
（3）ペンが壊れたので、新しいペンを買った。

「ペンを持ってきたいいですが、キラキラしているのはやめてください。」の言葉を受け、自分なりに書くことができる。

下校時間が変更になった理由を、聞き取ったままではなく、自分の言葉で書くことができる。

【資料5】聽写（食材名・料理名）

まぐろどんのざいりょう
まぐろはりくぐらむ
のりすこし
おれだいらんすこれ
よねーすおおきじ4
しょうりおおきじ2
みりんおおきじ2
さけおおきじ1
とうばんじんこきじ1
こまあぶらすこし
ごはんちやあん4はいぶん



いたんぎぬぐ(にちやくぐらむ)
 にり(はんぶん)
 はくさい(2まい)
 にんじく(はんぶん)
 しょうが(せちぐらむ)
 しお(すこし)
 つしゅう(すこし)
 しゅう(つなび)
 りー(すこし)
 ぎょうやの(はんじま)
 あぶら(すこし)
 はね(すこし)

「まぐろ丼の材料を言います。」と言ってから、食材名を聞き取る「聞く力」を養った。
その後、料理名を言わず材料名だけを聞くことで、何が出来上がるか予想し思考しながら聞く「聞く力」を養った。

【資料6】聴写（A児）

[illegible]

A児

初めはほとんど聞き取れず、メモも少なかったが、1か月後には、ほとんど聞き取れるようにまでなった。

なつたさいのかねのさいやう
 大へいこんの100ぐらゐ
 ぶつさいに12本
 なすの2本
 ぶつこり10をわかつ
 とはし2こ
 はふりかへて
 たまねぎのほうばん
 かねのるしとはこ
 さりだあふいのすこし
~~おぼろ~~
 びんは人4はいばん

担任からのコメントに対し、感想を書いている児童もいた。

担任からのコメントが、書くため・話すための動機づけになっていることが分かる。

十二月十日 土曜日
 もしも声がなくなったら。でも、声がで
 なくなったら。わたしは紙にかいて、
 「声がなくなったら」とかいて、しらせませう。
 それから、声をとりもどせるまで、紙
 にかいて、くらしめます。もし、えんぴつ
 やボールペンとか糸にかけるものが、
 なくなったら、ジュースチャーでつたえま
 す。つたわらなかなたら、本にかいてある。
 文をゆびで文をきこして、しらせませう。
 そうして、いさいます。おわり。
 ⑥
 そうやって生きていくのですね。ともなうし、声
 声よりも、さるまで、人は、さるは、
 いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、
 たい、たい、たい、たい、たい、たい、たい、たい、

よひしにき		
い	で	き
い	た	め
あ	こ	の
い	か	よ
い	き	る
い	あ	め
い	や	ち
い	り	で
い	ま	ま
い	し	の
い	た	と
い		ま
い		だ
い		ち

おうちでたにやきパーターをしたんだね。
おいしくできたかな？

電車の中、ミトなし話して楽し
みがたです。電車は3回のりしました。
帰る時は1回でした。
スカイツリーに行きました。
で、ミネソタジュニア
でした。電車にたまたま入って、スカイツリー
まで行ったんだわ。
イルミネーション、すてきだ
らうな。

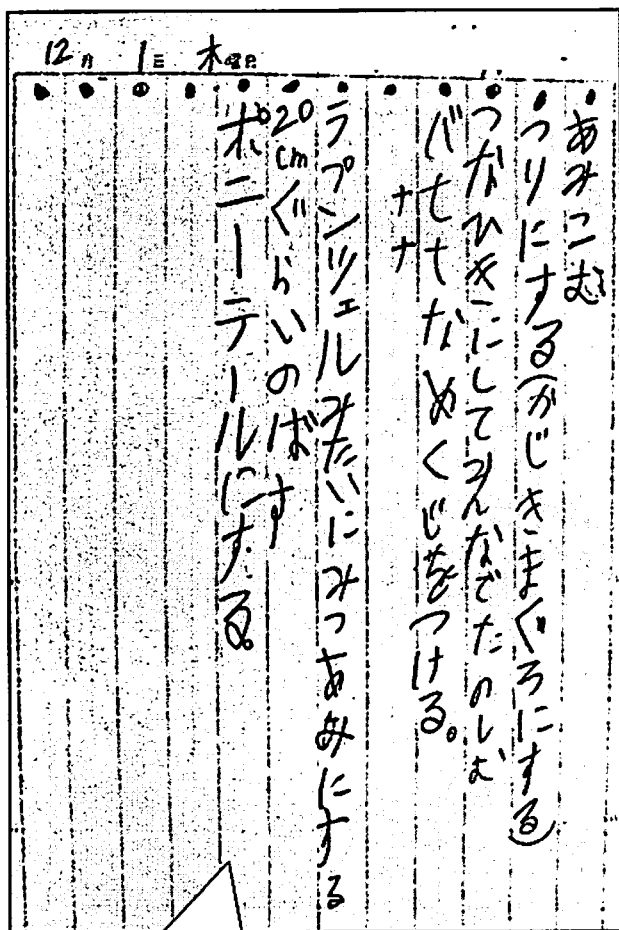
6月の段階では、1文しか日記を書けず、発表でも自信をもてないようであった。

12月頃になると、日記に書いてあることだけでなく、その場で文章を組み立て、つけたしながら発表することができるようになってきた。

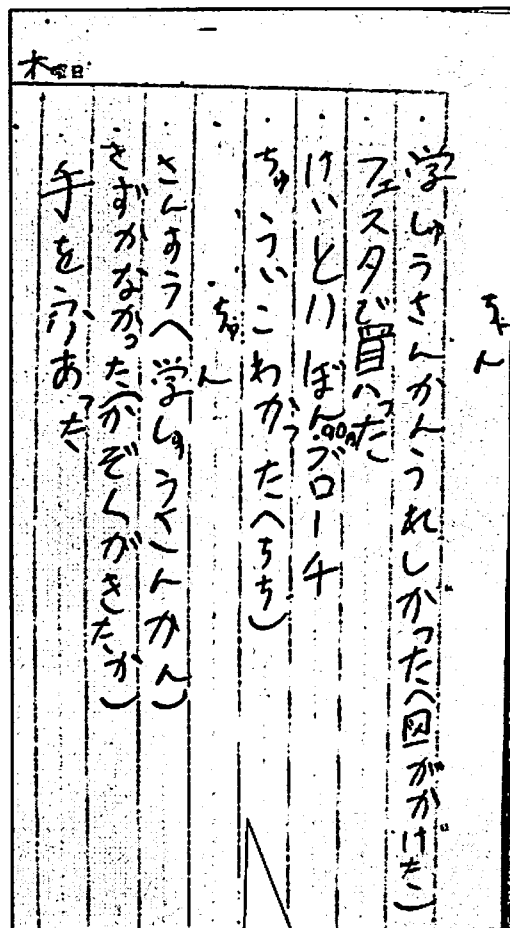
日直がスピーチした内容をメモを取りながら聞いた。

この活動を通して、質問したいけど何て質問したらよいかわからなかった児童が減り、ほとんどの児童が質問できるようになった。

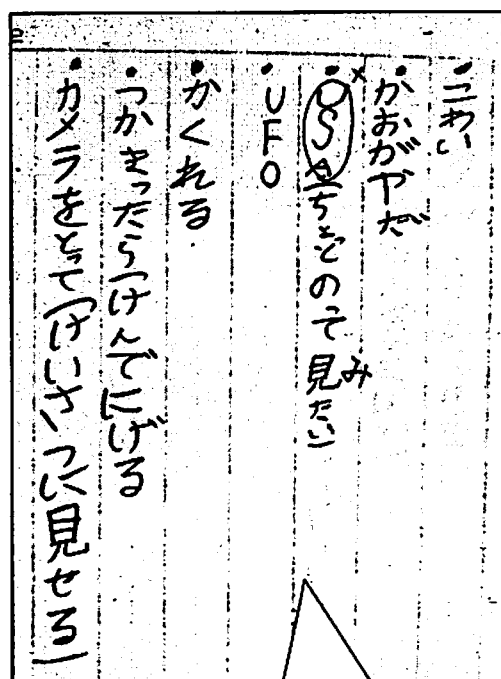
・ に、あいにわんぱくに。
 一。 一。
 ・ 二目のもくでががあつた。
 ・ そのもくでがはわんぱくのベルが
 うるさいて、くんにたいて、
 ぎみにしくため。



もし、髪の毛がのび続けたら・・・



学習参観の感想



もし、宇宙人に会ったら・・・

【テーマ】

- ・もし宇宙人に会ったら
- ・もしお金持ちになったら
- ・もし無人島に流れ着いたら
- ・もし角が生えたら
- ・もし空を飛べたら 等

児童は、簡条書きで書くことや、短い文で書くこと、聞いたことを自分の分かりやすいように括弧で補足することなどが、聞きながらメモできるようになってきた。

【資料 10】 国語の授業でのスピーチ



話し手

宿題の日記を、はっきりと相手に伝わるように発表している。

聞き手

大事なところを聞き落さないように、しっかりメモを取りながら聞いている。

聞き手

しっかりメモを取っていたから、質問もバッチリ！自信をもって手を挙げられるようになったよ。

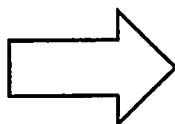


【資料 11】 スピーチをメモする（A児）

A児

初めは 1 文しか聞き取れていなかったが、次第に聞き取れる量が増え、質問をする意欲につながった。

ぼんやんたにいきうした



うかがける
もくろ
たいいにする
るかおおたない
たいききはしるが
たしかめるおしのはかせる
クのかはふたいひ
すいとたたが

【資料 12】 ふりかえるカード

ふりかえるカード 名前

②しょうかいを聞いて、しつもんやかんそうをつたえよう。

1 発表を聞くときに、がんばることは？
おへそをまけてさく

2 めあてをふりかえろう

①さいごまで話を聞けたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

③たくさんしつもんをできましたか？

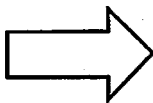
できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

④おののしつもんをつげられましたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

⑤自分の立てためあては、まもれましたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------



ふりかえるカード 名前

②しょうかいを聞いて、しつもんやかんそうをつたえよう。

1 発表を聞くときに、がんばることは？
めあてはしつもんがかわるまでさく。

2 めあてをふりかえろう

①さいごまで話を聞けたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

③たくさんしつもんをできましたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

④おののしつもんをつげられましたか？

できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

⑤自分の立てためあては、まもれましたか？

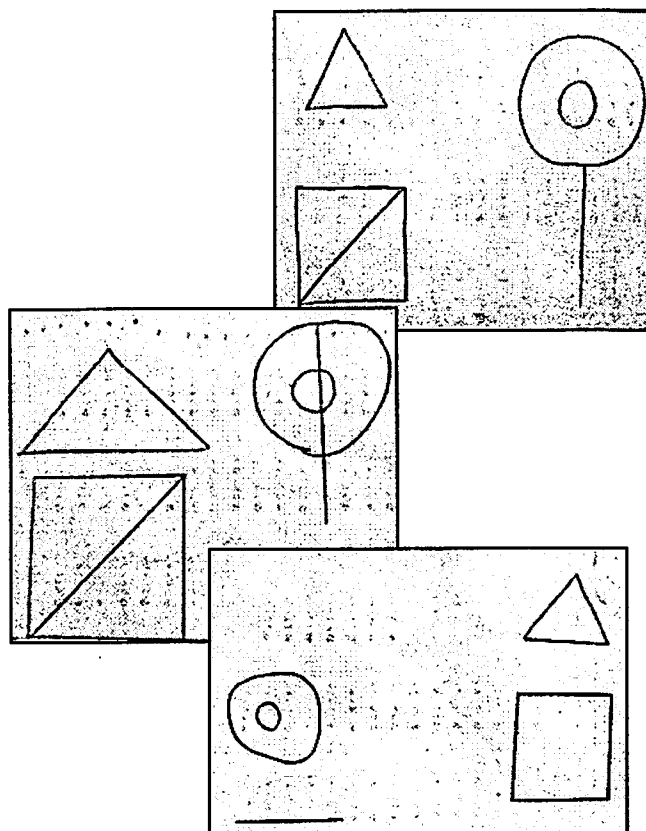
できた	少しできた	あまりできなかった
-----	-------	-----------

A児

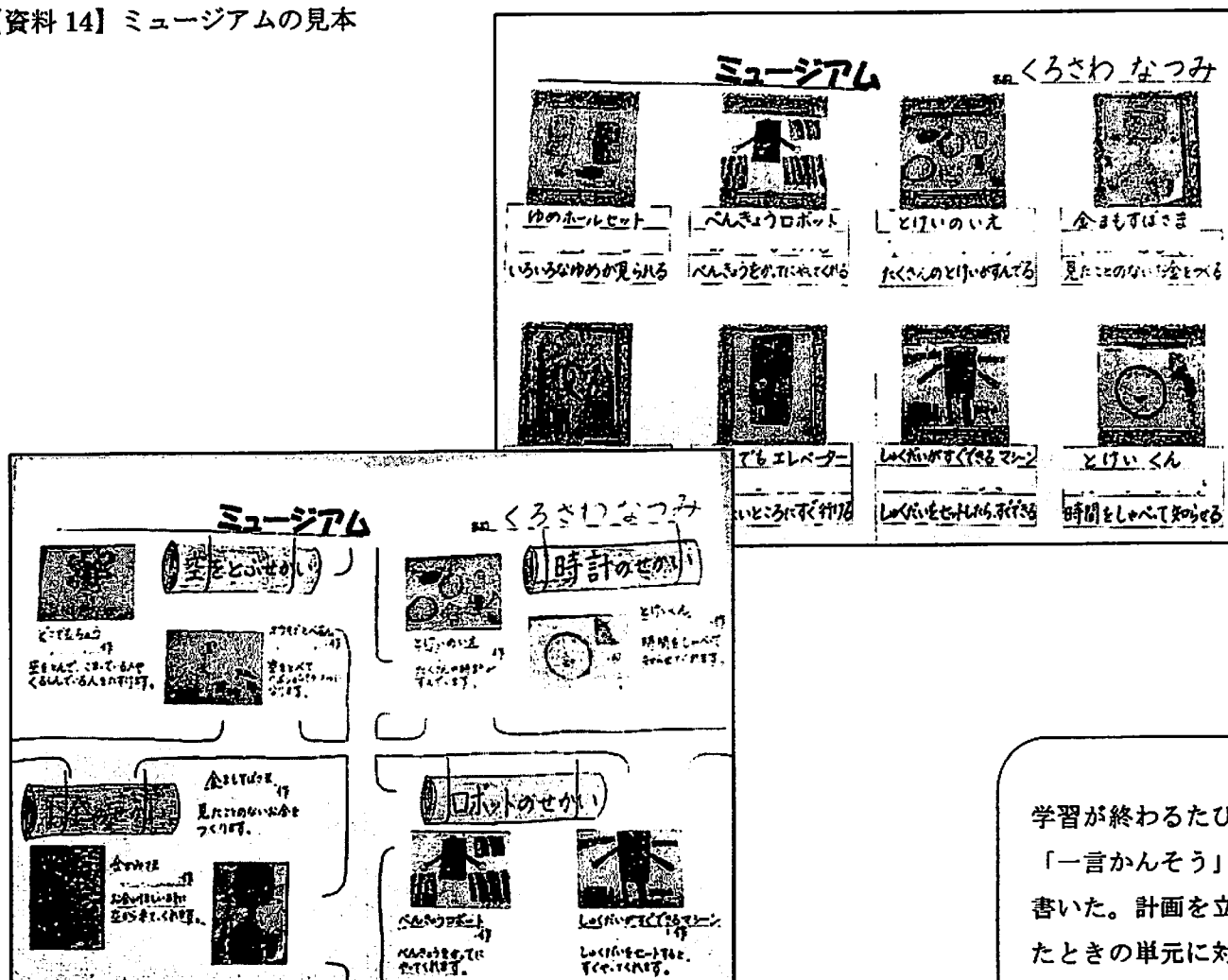
練習を重ねるごとに、「聞くときにがんばること」が、態度面（おへそを向けて聞く）から、内容にせまるような話の聞き方（人の質問が終わるまで聞く）に変化している。

「できた」が増えるようになり、自信につながった。

【資料 13】 言葉遊び



【資料 14】ミュージアムの見本

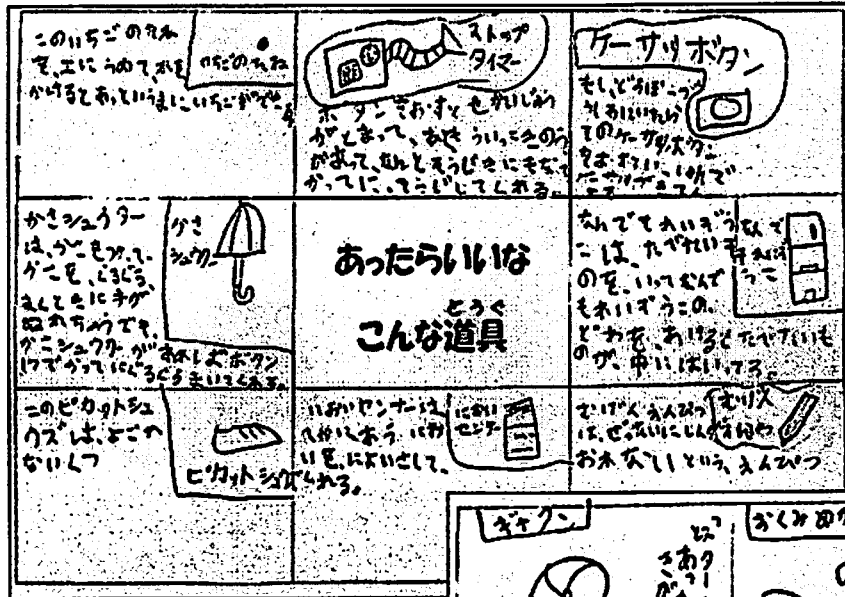


【資料 15】学習の計画

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
こころをかんじ うさぎ	こころをかんじ うさぎ	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき	は、びょうき
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ	は、びょうき うさぎ

学習が終わるたびに「一言かんそう」を書いた。計画を立てたときの単位に対する期待感（わくわくする）や、道具を考えたとときの高揚感（ほんものだったらいいな）がうかがえる。また中盤になり、質問の仕方やペアでの練習のところでつまずきがみられたが（しつもんができなかった）、そこでの学習があったからこそ、本番では満足のものになったようだ。（はっぴようたいむにしつもんがたくさんできた）

【資料16】「あったらいいな」と思うものを考える

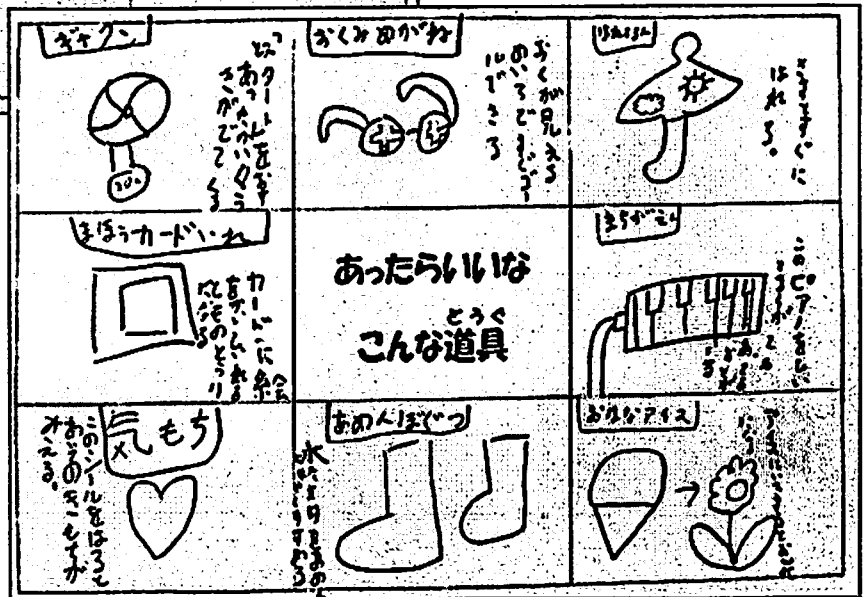


名前だけでなく、言葉や
絵で説明している。

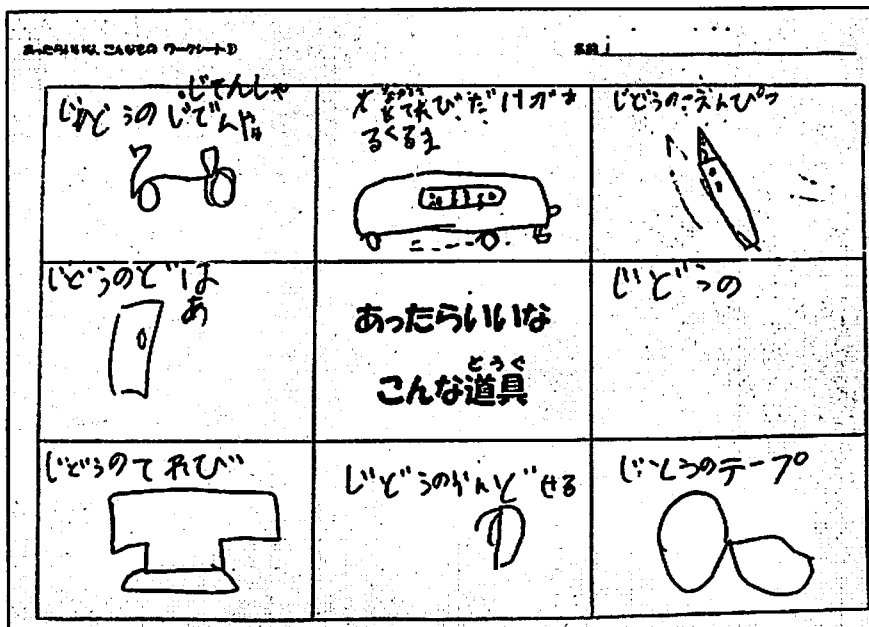
日常生活で「あったらいい
な」と想像して道具を
考えることができた。

- ・扇風機
- ・傘
- ・鍵盤ハーモニカ
- ・長靴 等

身近な道具を参考に
している。



【資料17】「あったらいいな」と思うものを考える（A児）



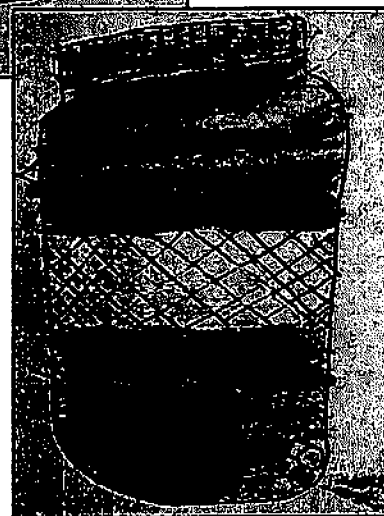
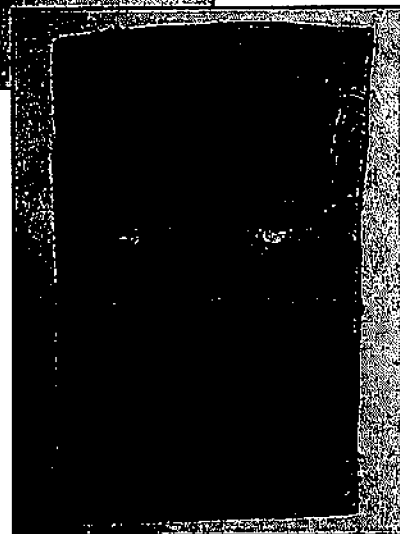
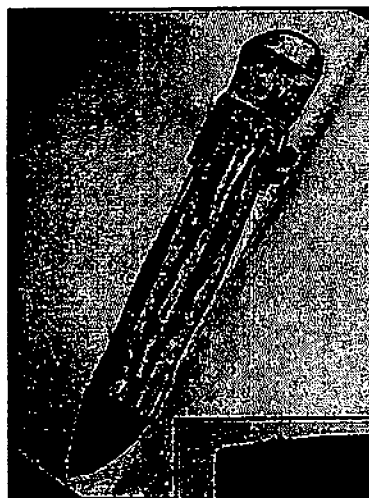
A児

すべて「じどうの～」で道具
を連想して、ワークシートを
短時間で埋めることができた。

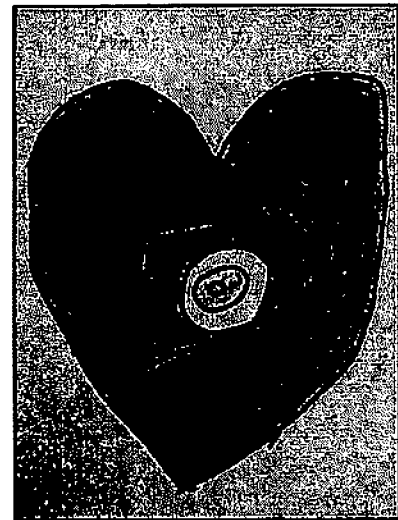
説明する言葉は書くことがで
きなかった。

【資料 18】 道具をひとつにしぼる

色 みどりじきみ じり。	大きさ キ、ズじらい	形 れ。
はたらき えんペーにつけるだ、100点えんが？	考えたけいゆう えんペー100点がとれ、 らモテタリするがら。	はたらき
べんいばところ テストの時、おれん がする。	考えたけいゆう えんペー100点がとれ、 らモテタリするがら。	おすすめポイント モデル
色 カサ色 かんく色 きい色	大きさ 2メートル 20cm	形 ながしかく
はたらき おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	考えたけいゆう なんでもおれでクコ 1	はたらき おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。
べんいばところ おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	考えたけいゆう おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	おすすめポイント おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。
色 赤のいろ	大きさ 自分のキになれた	形 ぶ、つうてい
はたらき ち、いろん かきす、いすないう りんづも、ていせいの おがくら	考えたけいゆう おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	はたらき おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。
べんいばところ おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	考えたけいゆう おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	おすすめポイント おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。
色 カラフル	大きさ びん、 けしご、む くら、 たの、けし、 3mm、けし	形 びん、 けし、 けし、 3mm、けし
はたらき びん、けし、 おす。	考えたけいゆう おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	はたらき おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。
べんいばところ おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	考えたけいゆう おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。	おすすめポイント おなかかすいたたハ たいものをいはいはな でもでてる。

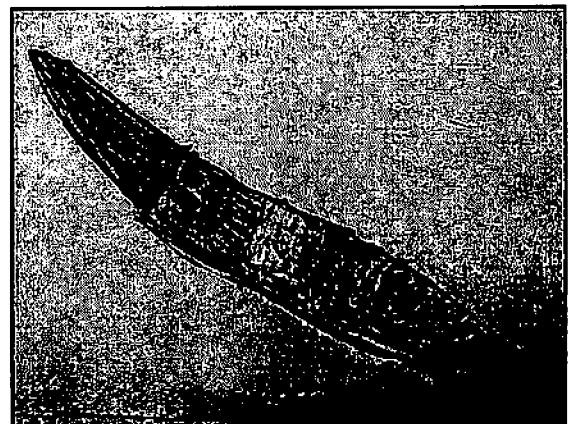


色 2つめい	大きさ 10cm たて5cm よこ5cm 10cm	形 ハート
はたらき つぎはきするし、おひきの ふたがみえる	おもいの道具は... 気持ち	はたらき おもいの道具は... おもいの道具は...
べんりなところ 2つめいだから 見えにくい	考えたいゆう ふたはきしてかいて ふたはきしてかいて	おすすめポイント けいさつのおひきの おひきの道具は... おもいの道具は...



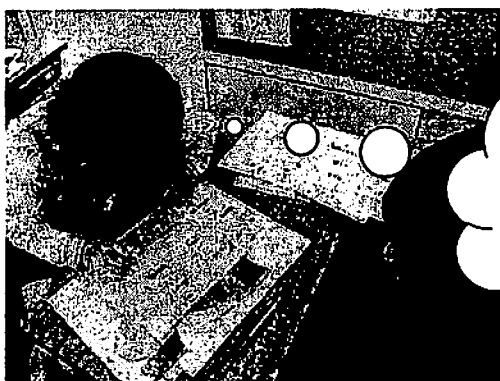
【資料 19】 道具をひとつにしぼる (A児)

色 にじいろ	大きさ ふたつのストロウ	形 ストロウのかたち
はたらき いつも100cm とれる	おもいの道具は...100cm ストロウ	はたらき おもいの道具は... おもいの道具は...
べんりなところ いまでつがえる	考えたいゆう おもいの道具は... おもいの道具は...	おすすめポイント いつも100cmとれる おもいの道具は...



【資料 20】 ペアでの質問練習

この足はどんな意味があるのですか？



ここはたくさん質問されそう・・・変更します！！

100点取れる鉛筆って言いましたが、上のボタンはどんな役割をしているのですか？

【資料 21】 発表メモを作る

は	おとう	と
わたし	と	あそぶ
わたし	おとうさん	あそぶ

ワークシート①と対応するように発表メモを作った。

[illegible]

大きく読む・ゆっくり読む・便利でしょという感じ・すごいよっていう感じ・えがお・目線等、気をつけたいところを書きこんでいる。

短い言葉でまとめ、読む順番を決めて、その場で文章を組み立てることのできる児童もいた。

[illegible]

【資料 22】 発表メモを作る (A 児)

色	大さき	色
いじいし	ううのえんじ	えんじのうがた
はたき	100ト	はたき
いっせ 110ト	えんじ	がたてえんじ
とる		えんじ
はんじはつ	はんじはつ	はんじのえんじ
いっせうがた	はんじをかんじ	いっせ 110トとる
	かんじ	かんじのえんじ

ワークシートと対応させて、自分だけで書くことができた。読み方も自分なりに考えている。

[illegible]

わたしが考へたのは、てんをさかへるてん
 を「ソラ」の「ソ」です。
 はたけは、てんをさかへて、まはらへは
 け、えたりゅうは、雨のとき、水にぬれる
 ので、と。
 とくちゅうは、うすき、うすオム
 ン、ちや、色、ひん、き、色、く、
 国語の「ソ」の「ソ」です。
 おま、おま、ソ、ソ、ソ、ソ、ソ、ソ、
 カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、
 ます。
 これ、わたしの、は、ひ、ま、を、お、わ、り、ま、す。

ほんがかんがえたのは100てんえんひとつです。(見せろ)
 べんきょをかんぱりたかり。かんがえまじした。
 しぬまてつかえてとてまべんりです。
 ちの米てもすぐにはええええする(はり)
 えんぴつのかたすをとしていて
 にいいうのいうをしてています。
 いちも100てんえんとおるがいはめりれます。
 かかりとしておべりです

家の人に発表を聞いてもらい、アドバイスや励ましの言葉もらった。これを画用紙の裏に貼り、子どもたちはとても満足気な様子であった。

[illegible]

かまきマシーンとてふ人、いぼんちにあたり
いふ。大志はえてゆ、ツヒおらうばひ。
がんばってね。母の
わがやからでるこの子「オムニバ」、ママはいふ
だね。こゝろすけはアリアだね。大志がんばれ！
大きな声で、ゆくり、ほろり話せてみて、どんな
は、びょうかよくわかるよ。本ばんで、みんなの
ほうを見て話せると、もっといいは、びょうになるね
こいうどうぶがあたり、ばんりだね。
かんぱに、開くように、大きなこえ
は、びょうをかんぱしな。

2 大丈夫とお母さんとも、いい出来です。
 この出来があるからいい。
 3 とても すきな くすりだね。
 みんなに カンパルのことを 教えてあげね。
 4 大きい声で がんばれ!!
 5 時々つまるので、もとすらすら読めるように
 すれば いいと思います。スペシャルほうは、
 あれば、すごくいいと思いました。
 6 毎日よるねのが
 たのしくなる マクラだね。
 ママもつかいたいな。

【資料 28】 発表会でのメモ (A 児)

[illegible]

A 児

道具の名前は正確に聞き取れなかったものもあったが、大体の特徴はメモをすることができた。

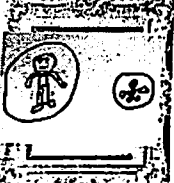
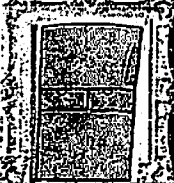
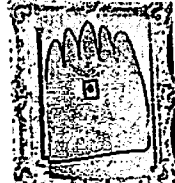
書くことに夢中で、相手
を見ることができなかつ
たのが反省点のようだ。

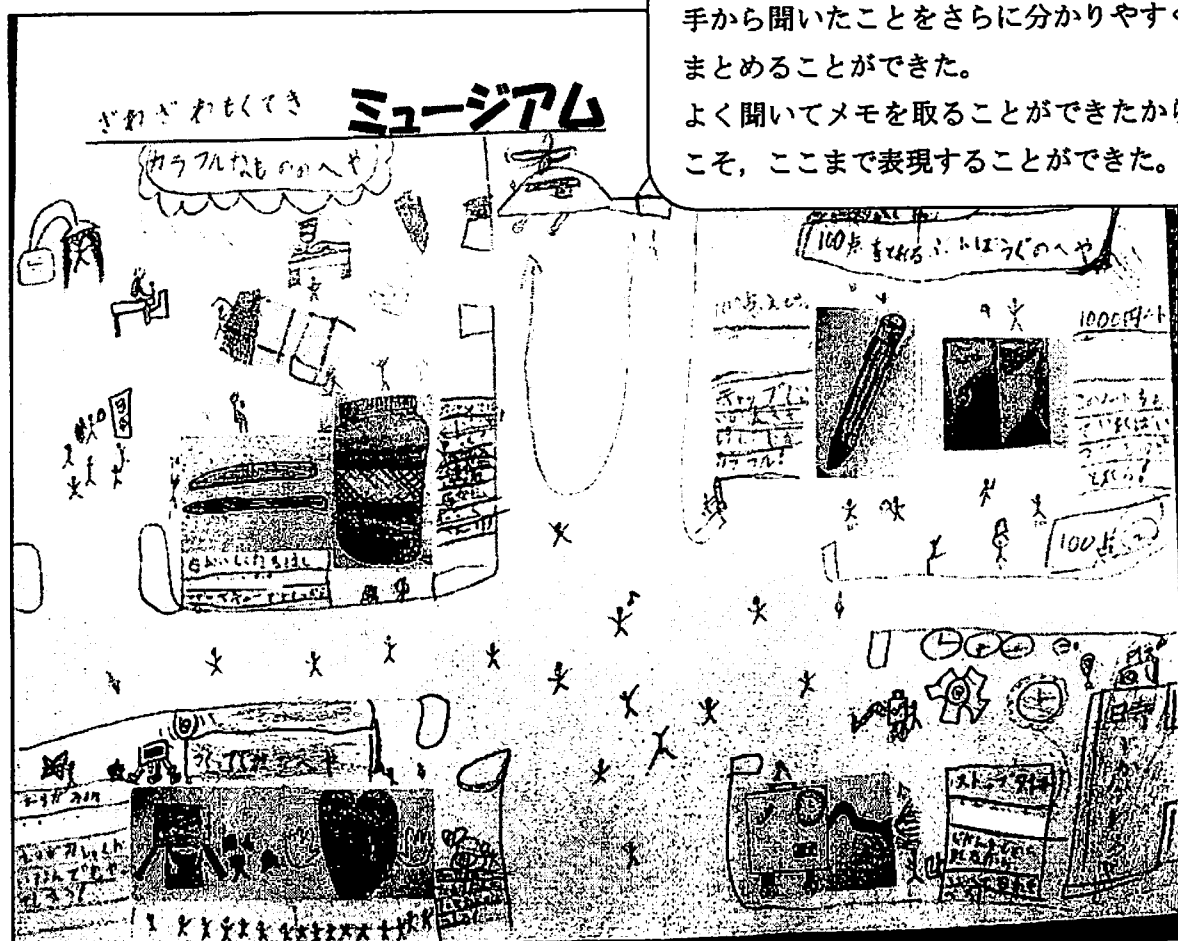
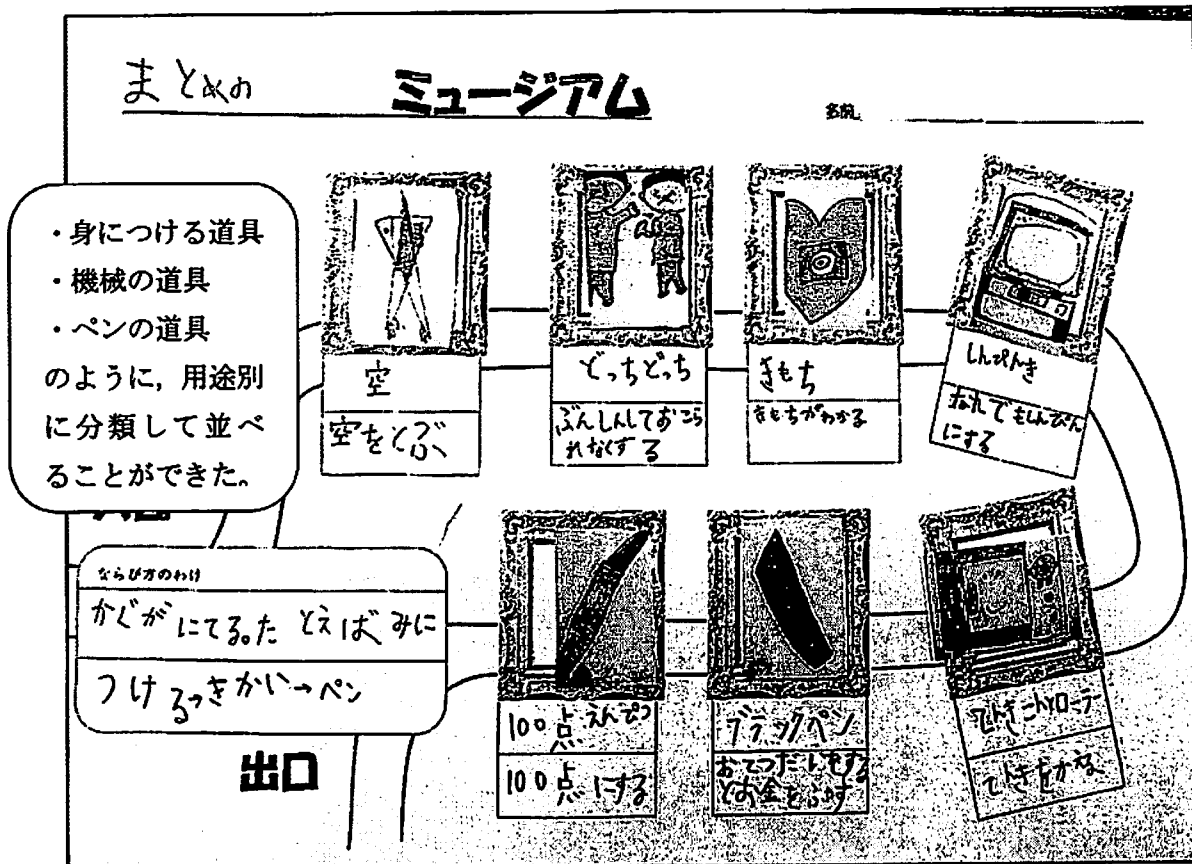
【資料 29】 ミュージアム作り

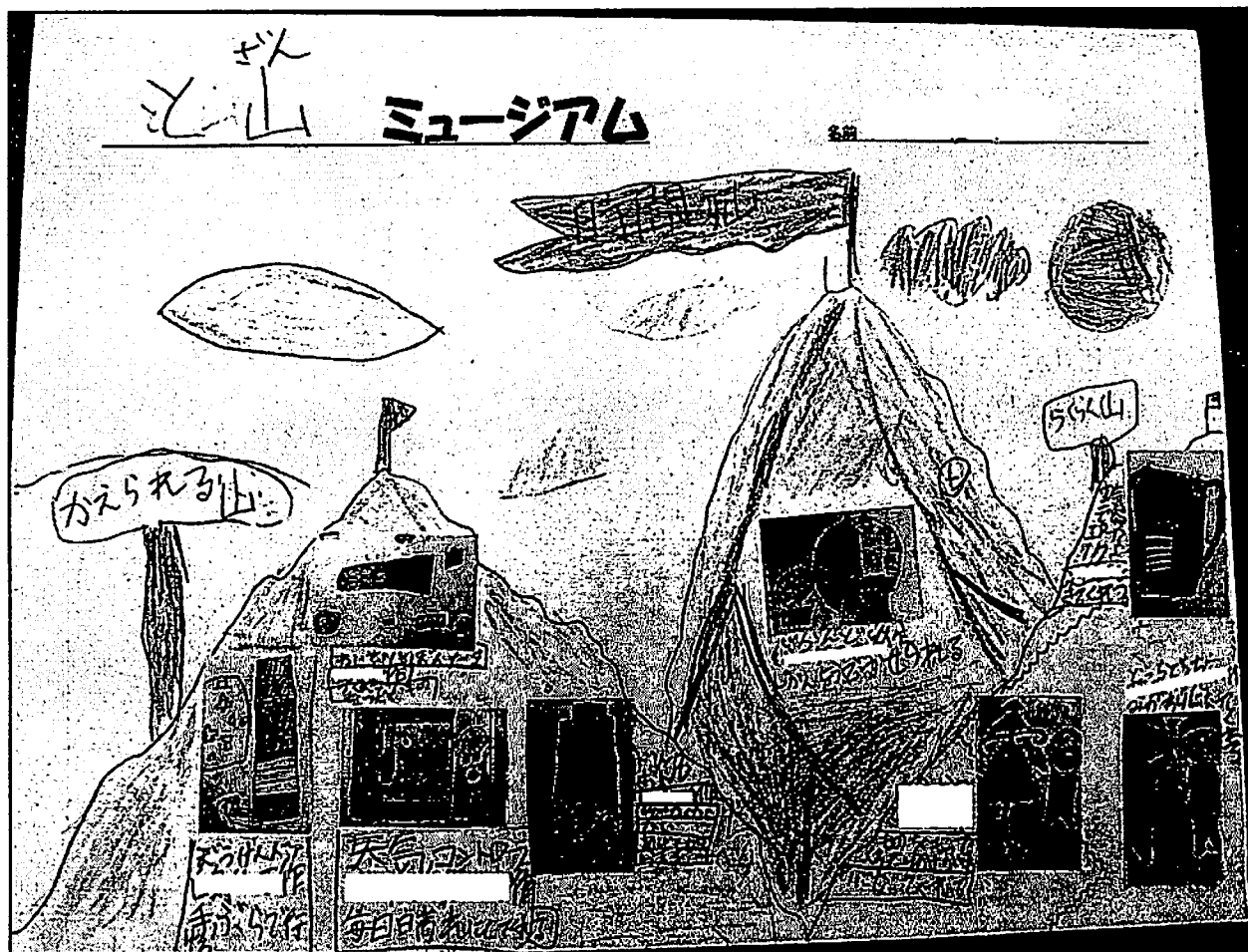
＜レベル1＞ 道具の名前・作者名・特徴

自分の好きな順に並べ、完成させた。道具の名前や特徴がしっかり聞き取れている。

はなばたけ ミュージアム

 冬にヒトコバとハナバタ 冬にヒトコバとハナバタ	 ナドムでモネイゾク たまたまのものをいふはで	 オリガミメカ オリガミメカでハナ	 モノとリテ、バク いちばんものをとる。
 ブラシちゃん いろいろなかみがたにし	 かちコ あぶないときにお	 せんがくドライバー つめたいかぜとあたた	 ストップタイマー じかにとめたりそ



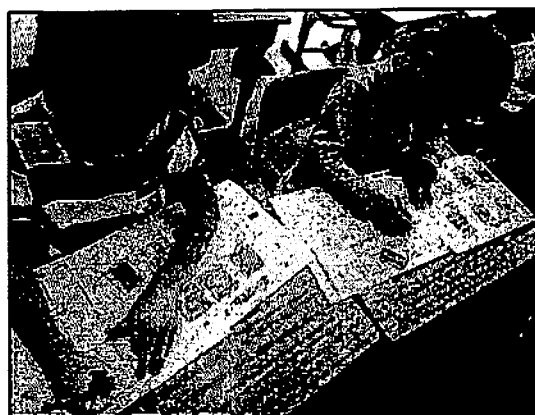
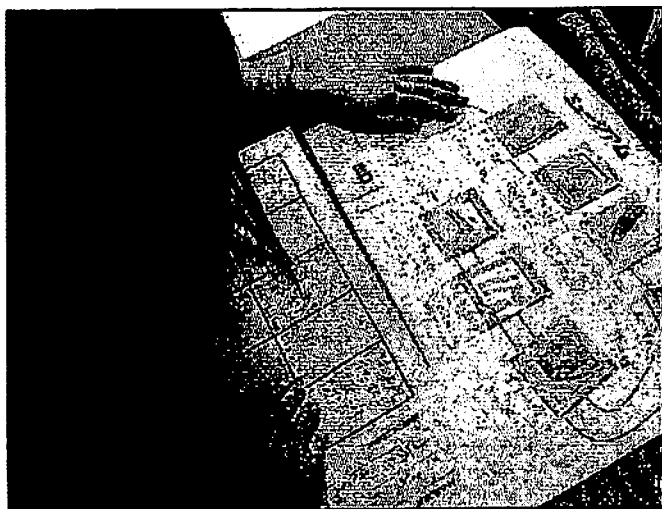


【資料 30】ミュージアム作り (A 児)

自らレベル 1 を選びとりくんだ。
特徴を端的にとらえ、ミュージアムを作ることができた。

ミュージアム

きもち	みらいレーザー	てんきとレーザー	白てんきとびつ
あかる (きもち)	うただけてみいにいける	てんきとかがえらる	しめまてうがえら
とびちから	しめとる	あかる	えんきと
よにのる	あかる	あかる	あかる



ばいもそと ちどろちが はしよあ なれたくは おねい お	あやさん におこられ なくてべい だね お お	しるいにと をかいて 糸泉をひの じょうすだね お お	せんびやく なすだね ちん がしばんきに おねい お	じゅんて とかいよ いてす しね お お
どちどちの はみささい みせてちた はみささい お	4つのせかい にわけられて はみささい お	せつめいが なかにて じいし もいました お	どちどちで 学校にきたら みんたまされ ちやうね お	く 4つのせかい にわけたんだ お

用途や種類別に4つのまとまりに分け、ミュージアムを作った。自分の道具だけでなく、友だちの考えた道具をおすすめとして紹介している。

「4つも分けられてすごい」
「ぼくだったらできない」
「説明が長くてすごい」 等、道具そのもののだけでなく、完成したミュージアムのデザインや配置の仕方に注目が集まった。

ミュージアムのかんじょうをしよう
おねい
お

4つのせかいにわけられてせんびやくのしんぶんを
おねい
お

【資料 32】国語科アンケートの結果と児童の変容（男子 20 名 女子 14 名 計 34 名）

○意識調査

質問項目	5 月（学習前）		3 月（学習後）	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. みんなの前で話すのは好きですか。	11 名(32%)	23 名(68%)	29 名(85%)	5 名(15%)
2. 友達の話を聞くことは好きですか。	30 名(88%)	4 名(12%)	33 名(97%)	1 名(3%)
3. 朝の会のスピーチを聞くことは好きですか。	34 名(100%)		34 名(100%)	

4. 話すときに気をつけていることは何ですか。

平成 28 年 5 月実施

（大きな声で・はっきり話す・前を見る・姿勢を正す・きれいな言葉で話す）



平成 29 年 3 月実施

（順序に気を付ける（はじめ・中・おわり）・伝えたいことを強調する・絵を見せて説明しながら話す）

5. 聞くときに気をつけていることは何ですか。

平成 28 年 5 月実施

（話をしない・静かにする・姿勢を正す・視線を合わせる・頷く・返事をする）



平成 29 年 3 月実施

（大事な言葉をメモする・分からないことは質問する・前の人の質問につなげる・最後まで集中して聞く）

○発言の分析（朝の会のスピーチでどんな質問や感想を述べているのか）

（平成 28 年 5 月実施）

- ・赤色が好きです。→他にどんな色が好きですか。
- ・ハンバーグを食べました。→他に何を食べましたか。
- ・サッカーをして遊びました。→楽しかったですか。



（平成 29 年 3 月実施）

- ・赤色が好きです。→赤色が好きと言いましたが、薄い色と濃い色のどちらが好きですか。
- ・ハンバーグを食べました。→ハンバーグを食べたと言いましたが、誰が作ってくれたんですか。
ぼくも今度食べてみたいと思いました。
- ・サッカーをして遊びました。→サッカーをして遊んだと言いましたが、〇〇公園にはその遊びをやっている人がたくさんいるので、今度行ってみてください。